

二学期になつてワクチン接種や接種後の副反応で学校を休む人がクラスの中にいる日が多くなりました。日本でワクチンを二回以上接種した人は全体の約七十%입니다。私もその一人です。

新型コロナウイルスについてはわからぬことが多い、日々、世界各地で情報が更新されについまで、ワクチン接種についても情報をしつかり収集

トを理解し、自分で判断することが大切だと思いました。なぜなら、メリットもデメリットも自分に起こることだからです。何があるかわかつていればデメリットも想定内のことでして対策を立て、備えることができます。私もワクチン接種にあつては効果や副反応などについて調べ、先に接種した家族や友達に聞き、心の準備をしました。ワクチン接種が推奨されているのは発症や重症

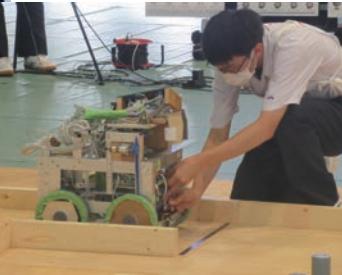
化の予防が期待されるからです。しかし、接種後に個人差がありますが、注射部分の痛み、発熱や頭痛、関節痛などの副反応があります。0.01%ほどの確率といわれていますが、「アナフイラキシーショック」という急性のアレルギー反応が起る場合もあり、これが理由で接種をしないという人も身近にいます。今回のコロナのように日常生活が変わってしまうような新たな感染症や災害などに今後、遭遇する可

その際、情報は大きな力になります。しかし、現代社会はSNSが身近になり、だれもが情報を発信できるようになります。情報が溢れる社会でどの情報が正しいのか判断するため、複数の情報と比べ、見極める力が必要です。最終的な自分の判断を後悔しないためには、さまざまなことに関する幅広い視野を持つて、情報を見極める力がほしいのです。

会場では僅か十数秒で勝負が決まるという緊張感と選手たちの競技にかける真剣さが伝わってきました。完走させるのがなかなか難しいこの競技長工の選手も苦戦していました。

顧問の林田惣一郎先生は「カメラ部門ではあと少しのところで優勝を逃してしまったが、九州大会に出場できるので、そこでがんばつてほしい。これから三年生は進路を

# ロボット競技二連霸！ ～機体に魂を込めて～



▲操縦も慎重に、確実に  
ロボットはこんな形▶

S ロボット「ユニオン」競技では、二台が登場しました。今年は操縦ロボットと自立ロボット一体型で挑むもので、例年より難しく、選手たちは本番前まで調整を繰り返していました。今回の課題は全国大会の開催地である埼玉県の特産品がモチーフになつていて、それらを回収し所定の位置に運びます。大会ではこの課題を確実にクリアしようとロボ研の人たちが集中して取り組んでいた姿が印象に残りました。試合終了後、顧問の岩

九月十日ハ日はロボット  
業高校体育館で開催され  
イコンカー競技が行われ  
ロボット競技部門で優勝  
ました。

よした。ロボット競技とマ  
ークが島原工  
学校のロボット研究部が  
全国大会への出場を決め

## 難しい課題に挑戦

田充広先生は「自立型が最後までいけなくて残念だつた。だが、朝よりもいい状態で動いてくれたのでよかったです。生徒は私に怒られながらもよくがんばってくれた」と感想を話してくださいました

A group of students are participating in a competition, possibly a robotics or science fair, in a school hall. In the foreground, two students are focused on a task involving a small cart on wheels. One student is holding a red container while the other looks on. A third student stands behind them, wearing a white shirt with the number 42. In the background, there are wooden benches, posters on the wall, and a door. The floor is made of polished wood.

部長 桑原佳希さん(M3)  
——コロナで時間がないなか、ベストを尽くしてがんばっていたのによかつた。もつとクオリティを高めて全国で通用するようになつてほしい。

ロボコンと同じ会場で開催されたマイコンカー競技。アドバンス部門に田久保心さん（MD）、野崎雄揮さん（MD）、ベーシック部門に梅木千春さん（P3）、上滉さん（E1）、カネラ部門に泉翔太さん（P3）が出席。結果はカタ

自立型があと少しめたのが悔しかった。だが点をとれたのでよかったです。来年は自立型をしつかり動かせるようにならんばかりでほしい。

せるように後輩たちといい。から準備をしていきた  
操縦者 田川冷心さん（P1）  
——あまり上手く操縦できなかつた。次回は結果を残せるようく練習し、上手くなりたい。  
中村隼雅さん（P1）  
——ハブニングも起こつたが上手くできたと思う。自立型が完成できなかつたので、次回は完成できるようがんばりたい。「ユニオン」チーム  
リーダー

八月九日の登校日において、このわれた平和学習。昨年に引き続き、コロナ対策として各教室でのリモート開催となりました。今年の内容は放送部による本校で被爆して亡くなつた生徒の保護者の方の手記の朗読、生徒会役員による広島工業高校との交流会報告、平和宣言SPRARプロジェクトについて、新聞部による慰靈碑についてのレポート。その後、正面玄関前ロータリーで行われる慰靈祭の様子が放送で流れました。屋外での慰靈祭は例年通りに開催されましたが、在校生から、生徒会副会長をはじめ、生徒会の方々が参列されました。在校生から、生徒会副会長をはじめ、生

A group of people are gathered around a white stone monument. A woman in a black dress is on the right, and a young girl in a school uniform is in the center. They are placing yellow flowers on the monument. There are other people in the background, some taking pictures.

徒会役員、各クラスの表生徒が参列し、慰霊祭に献花をしました。慰霊祭終了後、生徒以外の列者の方々が照円寺に動し、ここでも祈りをげました。

気づけばもう十一月になり、二学期もあと少し。就職試験も中間テストも文化祭も終わった。今まで心を縛つていたのがなくなってきた気が分った。まだ期が残っているので、さて、実は最近とては最近とてないことがありました。人んだりん」とガリガリ君です。が、がいるかもしませんが、当たる確率はなし。3パーセントととても細いものとなつていまいります。しかし、まだ交換してませんが、どういえば就職試験を受けました。その日まで受けた結果は、まだ発表の隅に合否の日まで、常におかからでした。

平和を祈り、考える  
R3 平和学習

泉翔太さん（P3）　| 昨年よりはいい結果を残せたのでよかったです。来年は自分の分までがんばつてほしい。

田嶋智郎さん（D2）　| 時間がなかつた。思つた通りの走りができなかつた。試行錯誤していい状態で本番に臨めるようにしてほしい。

期待していきます。今後のさらなる活躍を想を話されていました。

A slot car is shown racing on a grey track with black racing lines. The car is positioned on the inner lane of a curve. A bright green beam of light originates from the bottom right corner of the frame and extends towards the center, highlighting the path of the slot car.

# 青春 日記

野口育友会会长 長崎や広島だからこそ経験できる平和活動をしつかり学んで引き継いでいくつてほしい。平和をなは周りの人を大切に、それからその大切にする範囲を少しづつでも広げてください。ついでほし。大内住職 自分や他人の悲しみの声を聴けるようになんてほしい。いじめ、差別、身の回りのことを考えることの積み重ねが大切。そして実際に体験した人たちはから話を聞ける最後のチヤンスなのでそれを無駄にしないでほしい。梅野校長 平和の誓いの日が八月九日ということを意識して、私たちにできることをやつけていきたい。また和教育をやる中で、一平をやつてほりの意識を大切に

ありますので気が気ではありませんでした。格の通知をもらつたときには安堵の吐息が漏れていました。入社したら、少しつかりがんばろうと思いつかります。かわいい後輩の面接練習はしておきたいと思います。かわいい後輩の方が絶対にいりますよ。もちろん適性検査でやりますが、やはり決め手で重要なのは面接ではないでしょうか。はきはきと相手に伝える、これさえできればとりあえずは太夫です、多分。丈夫で就職試験が終わつても、自動車学校などもあり、自動車学校などもあり、課題研究も後半になります。嫌な戦いも赤点レッスンです。他にも忙しくてブルーになつてしまつています。しかし、なんでもいいです。他の課題研究も後半になります。どうこうします。どうぞお問い合わせください。

高校生になつて行つた平和学習  
一番印象に残つたのは、長工被爆の「実態」

今年も平和学習後に全員アンケートを実施させて、学習で印象に残ったことについて聞いてみました。

「今回の平和学習で印象に残ったものは何ですか。」

令和二年平和アンケート

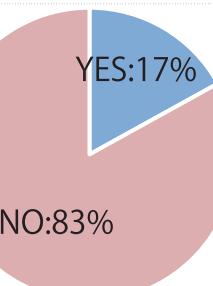
げてみると、  
—そもそも核兵器を増や  
さない(作らない)。

# 親と子の意見交換 いろいろな考え方を知る 育友会と生徒の 懇談会

た。」ト「S P R A R プロジエク〔三四〇〕に、エ工報流交和平の「アの〔六〇七〕、「実態」〔長工イ〕の回答は、たつた〔被爆〕です。

校生徒に協力してもらいました。今回の平和や現在の世界や日本の現状のよう平和の大切さを伝えていくが重要です。まだまだ世界では紛争が絶えず、だからこそ平和活動の継続の必要性が思えます。

（百三）  
——に發信する。  
——戦争をできないよう  
——条約を結ぶ。（七十四）  
——戦争をもとから起こさ  
——ないようとする。



項目一番多かったのは「戦争の恐ろしさを次の世代に伝えること」(三〇三)。次いで「原爆について知る」(二六六)。そして「被爆者の方の話をしつかり聞く」(八〇)、「平和を想う気持ちを持つ」(七八)、「平和活動を続ける」(七六)などの意見があげられていました。

3 核兵器総保有数を減らすにはどうすれば良いかと思いますか。

## Q4 の理由

交渉しました。今年も司会進行は育友会副会長の宮崎真奈美さん。保護者の方はもちろん、生徒も違う学年、学科の生徒が入り混じって初対面の人もいて、最初はなかなか会話も弾みませんでした。しかし、司会の宮崎さんによるレクリエーションのおかげでみんなが打ち解けること

○平和ではないと思う理由。  
| 戦争がなくなつていな  
い。 (四八一)  
| まだ核兵器があるから  
| いいじめ、犯罪があるか  
ら。 (一六七)  
| 貧困に苦しんでいる人  
がいるから。 (三四)  
| などが YES、NO の  
それぞれの理由としてあ  
げられていました。

A group of students in a classroom setting are participating in a drama or role-play activity. They are wearing school uniforms and face masks. One student in the foreground is gesturing with their hands while speaking. Other students are standing around, some holding papers or books. The room has large windows and fluorescent lighting.

がで、各班で笑顔がみられるようになりました。今回のテーマは大きく三つ。一人ひとりに意見を書くための用紙が配られました。そこにテーマごとの意見を書き、まずは班の中で共有。その後は各班の代表が意見をまとめ将来自由に話した合では各々がこういう将来についての話した合

○保護者の方の感想。  
—自分の子ども以外の高  
校生と話すのは新鮮で楽  
しかった。

—どの家庭の保護者も同  
じような意見だったので、  
安心した。

来になつたらいいな、と  
いう未来予想図を書き、  
それを参加者全員で見て  
回りました。自分以外の  
いろんな人の考える未来  
を見ることができるのは  
楽しい経験でした。

懇談会が終わつた後、  
司会の宮崎さんにお話を  
伺うと「テーマを学校、  
家庭、将来に区切つて話  
を進めた。生徒のみんな  
が意見を出しやすいよん  
に席をまわつて声をかけ  
ることを意識した。み



▲広島工業の  
Instagram公式

後記編集

なさんも、寒さにだけは気を付けて、自分の体調を第一に冬を楽しみましょう。

後編集

今号で初めて紙面編集に携わりました。でも時間がかかるつづいていました。  
▼上のQRコードは広島工業高校のインスタグラムのQRコードです。広島工業の先生曰く、「ぜひ載せてください」と。家で見てください。

被爆遺構めぐりをする」  
「以上、長崎工業高校」  
「工業高校としての平和  
の象徴を作る」「より身  
近に交流し、長崎工業と  
広島工業で平和について  
発信する」(以上、広島  
工業高校)などの意見が  
出ていました。話を進める  
中で、「インターネット  
を使い平和を発信する」  
といつた共通する意見も  
あり、今後の進展が期待  
できそうでした。  
最後に広島工業高校生  
徒会長の花谷尚人さん  
今回の交流会の感想を開  
くと、「今日の交流会を通  
じて長崎の原爆被害つい  
てや平和への思いを知る

ます。日々寒さが増しますが、実は中学生の時から今に至るまで、マフラーや手袋といった防寒具をつけたことがなく、温かそうだなと思うものには至りません。今年は急に冷え込み、我が家では観測史上最も早いこたつ登場となりました。こたつへの誘惑に負け、何度も遅刻しそうになつたことにつかに。それにしても、こたつに入つて食べるミカン。みなさんは格別なんですよね。みづけは気温を下げる一冬を楽しみましょ。

二年生な  
☆